

鎌ヶ谷市地方創生総合戦略推進会議

日時：令和4年10月13日（木）

14時00分～

場所：鎌ヶ谷市役所6階

第1・2委員会室

－ 会 議 次 第 －

- 1 開 会
- 2 自己紹介
- 3 議題（議長）
 - （1）会議録署名人の選出について
 - （2）会議要旨説明
 - （3）「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略
令和3年度事業に係る効果・検証」について
 - （4）その他
- 4 閉 会



鎌ヶ谷市

まち・ひと・しごと 創生

総合戦略

令和3年度事業

に係る効果・検証

【目次】

1	「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」	
	令和3年度事業に係る効果・検証について・・・・・・・・	1 頁
2	「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」	
	令和3年度事業実績一覧・・・・・・・・	7 頁
○	危機管理体制・防災対策の強化・・・・・・・・	7 頁
○	消防・救急・救助体制の充実・・・・・・・・	11 頁
○	良好な居住環境の確保・・・・・・・・	16 頁
○	治水対策の推進・・・・・・・・	20 頁
○	子育て環境の充実・・・・・・・・	24 頁
○	保育サービス等の充実・・・・・・・・	30 頁
○	学校教育の充実・・・・・・・・	35 頁
○	児童・生徒の健康及び安全等の確保・・・・・・・・	40 頁
○	快適な公園・緑地空間の創出・・・・・・・・	45 頁
○	安全に利用できる道路環境の充実・・・・・・・・	48 頁
○	魅力ある都市機能の充実・・・・・・・・	54 頁
○	商工業の振興及び観光施策の充実・・・・・・・・	59 頁

「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 令和3年度事業に係る効果・検証について

1 はじめに ～国と市の地方創生について～

国は、少子高齢化に歯止めをかけ、地域の人口減少と地域経済の縮小を克服し、将来にわたって成長力を確保することを目指すため、平成26年度に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、人口の将来の方向などを提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、本ビジョンの内容を踏まえた5か年の政策目標や施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したところです。

これを踏まえて、本市は、平成27年度に、市における人口の現状や将来人口の推計、将来展望を踏まえ、目指すべき将来の方向を定めた「鎌ヶ谷市人口ビジョン」や、本市の地方創生を着実に進めていくための具体的な施策を定めた「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、各施策の推進に取り組んできました。

地方創生に関しては、国及び地方における総合戦略に基づき、本格的な事業展開を進め、令和元年度に5年間の事業期間が終了したことから、国では、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を令和元年12月に閣議決定し、引き続き地方公共団体と一体となって、地方創生の深化に取り組んでいます。

本市は、国の第2期総合戦略の策定を踏まえ、令和元年度に計画期間が終了する「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を1年間延長した「改訂版」を策定したところですが、令和3年度からは、「鎌ヶ谷市総合基本計画前期基本計画」に、「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含する計画として策定し、人口減少対策及び地方創生を進めるものとしています。

2 総合戦略の推進について ⇒ 重点プロジェクトの詳細：別紙3のとおり

本市の「第2期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「鎌ヶ谷市総合基本計画前期基本計画」における5つの基本目標を踏まえ、重点的かつ優先的に、また横断的に取り組むものとして定めた3つの重点プロジェクトを中心に推進しています。

この重点プロジェクトは、今後解決すべき課題、市民意識調査結果、社会情勢の変化等を踏まえて決定しています。

なお、本市は、企業版ふるさと納税に係る寄付を充当できる事業として、令和3年3月に策定した地域再生計画において、総合戦略の具体的な事業である重点プロジェクトを掲げており、毎年度1回、外部有識者による効果検証を行い、その結果に基づき、必要な改善を事業に反映することとしています。

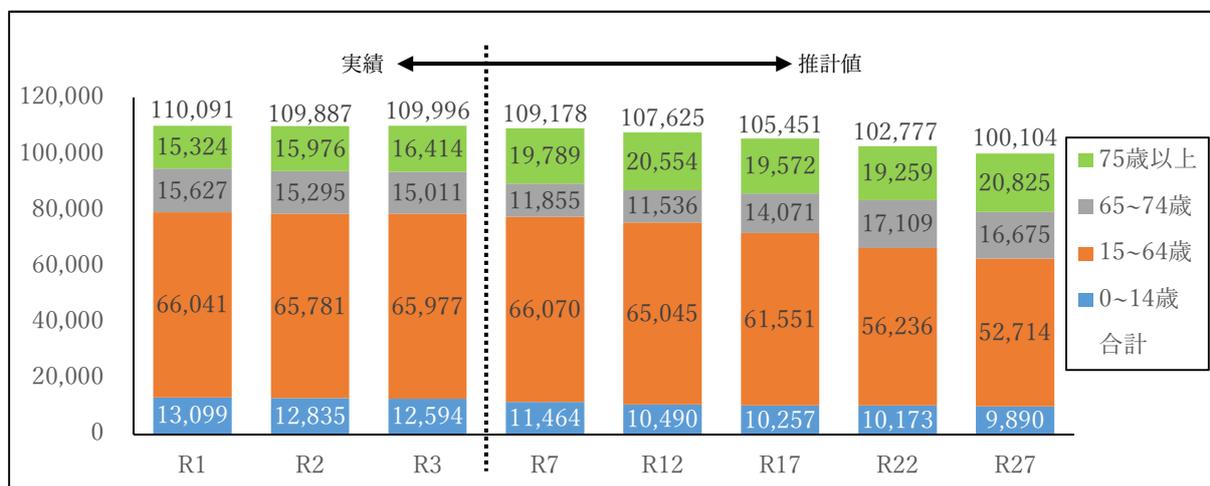
【重点プロジェクトの項目】

プロジェクト 1	誰もが安心して暮らせる防災、 減災のまちづくり
重点施策① 危機管理体制・防災対策の強化 重点施策② 消防・救急・救助体制の充実 重点施策③ 良好な居住環境の確保 重点施策④ 治水対策の推進	
プロジェクト 2	未来を担う子どもをみんなで 応援するまちづくり
重点施策① 子育て環境の充実 重点施策② 保育サービス等の充実 重点施策③ 学校教育の充実 重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保	
プロジェクト 3	人が集い、住みたい魅力の あふれるまちづくり
重点施策① 快適な公園・緑地空間の創出 重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実 重点施策③ 魅力ある都市機能の充実 重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実	

3 本市の人口推計について

本市の人口は近年ほぼ横ばいで推移し、約11万人となっています。

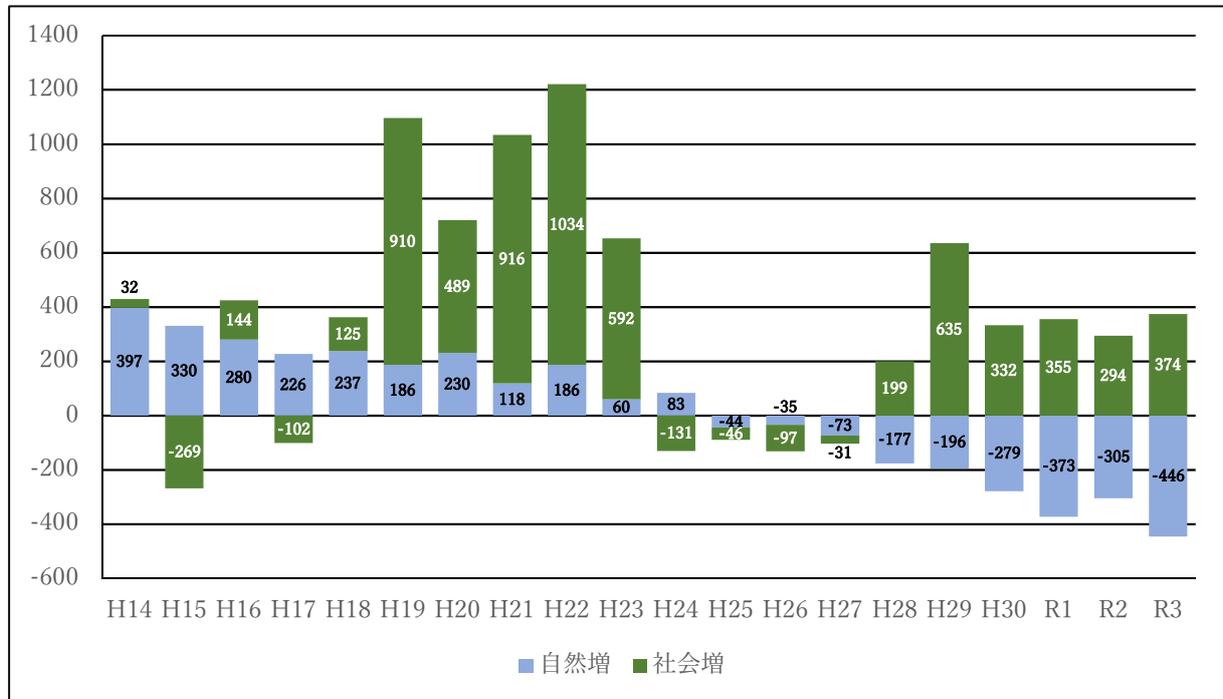
一方、市が独自に実施した本市の将来人口推計によると、将来的には減少傾向となり、令和27年時点では100,104人になると見込まれます。



4 要因別人口増減数の推移

社会増減（転入者数－転出者数）については、平成 24 年から平成 27 年までは転出超過が続いていましたが、平成 28 年以降は転入超過に転じています。

一方で、自然増減（出生－死亡）については、平成 24 年までは出生数が死亡数を上回っていましたが、平成 25 年以降は死亡数が出生数を上回っています。



5 施策の効果・検証について

「第 2 期鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に実施するため、重点プロジェクトで定める施策ごとに、実績等を確認することで効果の検証を行います。

効果・検証にあたっては、その妥当性や客観性を担保するため、鎌ヶ谷市地方創生総合戦略推進会議において検証し、いただいたご意見を今後の施策展開に反映していきます。

6 令和 3 年度の取組結果等に係る評価について

上記「5」を踏まえ、市では、令和 3 年度の重要行政評価指標（KPI）（施策の状態指標及び施策の柱の成果指標）や主な事務事業の実績等の評価を行いました。

第三者機関では、これらの事業実績について、効果・検証を行ってまいります。

7 状態指標、成果指標の進捗状況

(1) 状態指標に係る進捗状況

達成状況	評価基準	状態指標数	構成割合 (%)
① 順調に推移している 又は現状値と同じ	直近の実績値が現状値を上回っているもの 又は現状値と同じもの	17	70.8%
② 現状値より悪化している	直近の実績値が現状値を下回っているもの	※6	25.0%
③ 未計測	アンケートが未実施などの理由により、状態指標が未計測であるもの	1	4.2%
合 計		24	100%

※ 6指標のうち3指標が新型コロナウイルスによる影響に伴い悪化したもの

(2) 成果指標に係る進捗状況

達成状況	評価基準	成果指標数	構成割合 (%)
① 達成	直近の実績値が令和8年度目標値を既に達成しているもの	12	17.6%
② 順調に推移している 又は現状値と同じ	直近の実績値が現状値を上回っている又は現状値と同じであり、令和8年度までの目標達成が見込まれるもの	31	45.6%
③ 現状値より悪化している	直近の実績値が現状値を下回っているもの	※25	36.8%
合 計		68	100%

※ 25指標のうち16指標が新型コロナウイルスによる影響に伴い悪化したもの

【状態指標及び成果指標とは】

状態指標	施策のねらいにどの程度近づいているかを示す指標 ※社会経済動向で指標の実績値が変化するため「目指す方向性」を示す
成果指標	施策のねらいを達成するため、施策の柱に定める指標 ※行政活動がもたらす成果

8 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標

(1) 状態指標 (3 指標)

状態指標名	単位	目指す方向性	現状値		実績値		
			基準年	数値	元年度	2年度	3年度
① 子育て支援事業の満足度	%	↑	令和2年度	73.1	—	73.1	73.0
② 交通事故発生件数	件	↓	令和元年度	205	205	249	254
③ 市内8駅の1日当たりの乗降客数	人	↑	令和元年度	159,636	159,636	127,123	138,305

(2) 成果指標 (16 指標)

成果指標名	単位	目標値	現状値		実績値		
			基準年	数値	元年度	2年度	3年度
① つどいの広場利用人数	人	34,000	令和元年度	25,859	25,859	13,986	21,312
② 児童センター利用人数	人	126,000	令和元年度	99,378	99,378	40,930	58,788
③ 子育てサポーター活動回数	回	800	令和元年度	740	740	0	214
④ 放課後児童クラブが楽しいと思う児童の割合	%	80	令和2年度	60.2	—	60.2	52.4
⑤ ファミリー・サポート・センター提供会員数	人	195	令和元年度	171	171	171	164
⑥ 自主公開取組み校	校	12	令和元年度	9	9	5	4
⑦ 食育指導の実施回数	回	34	令和元年度	25	25	18	12
⑧ 総合防災訓練の参加者数	人	2,000	令和元年度	1,871	1,871	0	0
⑨ 立入検査実施件数	件	400	令和元年度	389	389	7	197
⑩ 救命講習開催回数	回	55	令和元年度	48	48	0	9
⑪ 活動訓練実施回数(救急、救助)	回	930	令和元年	922	922	816	840
⑫ 宅地、建物のパトロール件数	件	170	令和元年度	121	121	100	113

成果指標名	単位	目標値	現状値		実績値		
			基準年	数値	元年度	2年度	3年度
⑬ 交通安全教室の開催数	回	22	令和元年度	20	20	6	15
⑭ 新鎌ヶ谷駅の1日当たりの乗降客数	人	116,000	令和元年度	103,942	103,942	83,045	91,604
⑮ コミュニティバス利用者数	人	167,000	令和元年度	131,843	131,843	87,445	106,672
⑯ 観光入込客数	人	410,000	令和元年	404,175	404,175	149,132	165,851

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策① 危機管理体制・防災対策の強化

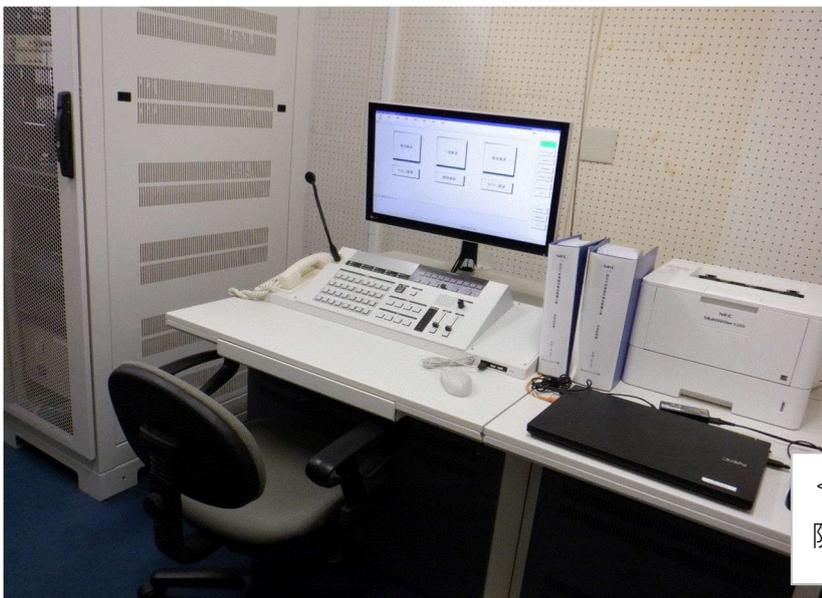
施策の柱① 総合的な危機管理体制の強化

施策の柱② 事前防災、減災対策による地域防災体制の充実

施策の柱③ 災害応急活動、復旧対策の強化

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R1	R2	R3
自主防災組織の組織率	↑	51%	51%	51%
災害協定の締結数	↑	57件	60件	64件



<写真①>

防災行政無線デジタル化事業



<写真②>

防災備蓄倉庫整備事業

プロジェクト 1	誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり
重点施策① 危機管理体制・防災対策の強化	

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 総合的な危機管理体制の強化

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
業務継続計画（BCP）の確認及び見直し	2回	2回	1回	2回
防災体制強化研修の参加者数	400人	一人	一人	671人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	防災対策に要する経費	担当課	安全対策課
概要	鎌ヶ谷市地域防災計画に基づき、ソフト・ハード両面において防災体制の強化のため計画的な整備を進めていく。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
避難所案内標識改修工事、車いす対応トイレ、蓄電池等の購入により避難所環境の整備を図った。		衛生用品などの物品についても更新計画を作成し計画的に更新できる体制を整え、防災備蓄品の効率的な保管場所や管理方法について検討する。また、災害時の飲料確保のための井戸付耐震性貯水槽も更新や修繕を検討する。引き続き計画的に避難場所案内標識改修工事を行っていく。	
令和3年度決算額(千円)	53,444	令和4年度予算額(千円)	18,104
事務事業名	危機管理に要する経費	担当課	安全対策課
概要	鎌ヶ谷市危機管理指針に基づき、国民保護計画及び当該計画に基づく個別マニュアルの整備等を進める。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
市庁舎の非常用電源など、鎌ヶ谷市災害時業務継続計画の見直しを行うとともに、人事異動による最新の内容の確認引継ぎのため、各課の業務継続計画（BCP）及び危機管理マニュアルの見直しを依頼した。		各課に依頼した業務継続計画（BCP）及び危機管理マニュアルのとりまとめを行った。地域防災計画に定める業務継続計画（BCP）及び緊急事態対応計画に定める危機管理マニュアルの精査・検証を行い、適宜見直しを行う。	
令和3年度決算額(千円)	0	令和4年度予算額(千円)	120

プロジェクト 1	誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり
重点施策① 危機管理体制・防災対策の強化	

施策の柱② 事前防災、減災対策による地域防災体制の充実

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
自主防災組織への資器材交付完了団体数（累計）	85団体	77団体	79団体	81団体
避難行動要支援者避難支援制度協力自治会数（累計）	50自治会	15自治会	18自治会	21自治会

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	自主防災組織資器材整備に要する経費	担当課	安全対策課
概要	自主防災組織が防災活動を行うために必要な防災資器材を交付する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
2つの自主防災組織に資器材の交付を行ったことで、資器材交付完了団体数（累計）が増加した。		引き続き防災活動を行うために必要な防災資器材を未交付の自主防災組織に対し交付することにより、市全体の防災力を拡充していく。	
令和3年度決算額(千円)	595	令和4年度予算額(千円)	87
事務事業名	洪水ハザードマップ作成事業	担当課	安全対策課
概要	法改正や県の浸水想定などを踏まえて、ハザードマップの検証を行い、解析した浸水想定区域を基に、市民の避難行動がより円滑かつ適切に行えるよう、水害ハザードマップを作成する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
ハザードマップの作成により、災害発生時の想定が具体的にイメージできるようになった。		ハザードマップを約5万世帯に対し配布を実施した。	
令和3年度決算額(千円)	3,839	令和4年度予算額(千円)	0

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策① 危機管理体制・防災対策の強化

施策の柱③ 災害応急活動、復旧対策の強化

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
避難所運営委員会の組織数（累計）	21組織	12組織	12組織	12組織
総合防災訓練の参加者数	2,000人	1,871人	0人	0人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	防災行政無線デジタル化事業	担当課	安全対策課
概要	令和元年度に実施設計、令和2年度から令和3年度まで工事を実施し、防災行政無線の親局及び屋外拡声子局の設備をアナログ方式からデジタル方式に更新する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
屋外拡声子局73か所の設備をデジタル方式に更新し、アナログ方式の既設設備を撤去した（デジタル方式は令和3年2月1日運用開始）。 令和2年度から令和3年度までの更新工事では、一部スピーカーをより高性能なスピーカーに変更し、向きの調整を行うなど、難聴地域の改善を図った。 ⇒P7 写真①参照		—	
令和3年度決算額(千円)	294,778	令和4年度予算額(千円)	0
事務事業名	防災備蓄倉庫整備事業	担当課	安全対策課
概要	感染症対策のための備蓄品を整備するため、防災備蓄倉庫を新たに整備する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
市役所敷地内に新たに防災備蓄倉庫を整備し、令和3年度に新たに購入した、避難所用のテントや間仕切りなどの感染症対策のための備蓄品を入庫した。 ⇒P7 写真②参照		—	
令和3年度決算額(千円)	11,344	令和4年度予算額(千円)	0

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策② 消防・救急・救助体制の充実

施策の柱① 消防体制の充実

施策の柱② 火災予防の推進

施策の柱③ 安心できる救急、救助体制づくり

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R1	R2	R3
出火率（人口1万人当たり）	↓	2.3件	1.7件	1.2件
災害出動件数（火災、救急、救助）	↓	6,022件	5,561件	5,904件



<写真③>

消防団車両更新事業



<写真④>

鎌ヶ谷消防署改修事業

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策② 消防・救急・救助体制の充実

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 消防体制の充実

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
消防車両の更新台数（累計）	16台	一台	一台	2台
予防技術資格者数	60人	35人	40人	42人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	職員研修に要する経費		担当課	消防総務課
概要	消防職員として業務遂行上必要な専門知識及び技能を習得するため、消防大学校等の各種研修所に派遣する。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
消防職員23人を研修派遣し、知識と技術の向上を図った。		消防力維持のため、消防職員を計画的に専門研修へ派遣する。		
令和3年度決算額(千円)	2,994	令和4年度予算額(千円)	4,596	
事務事業名	消防車両更新事業		担当課	消防総務課
概要	消防活動を維持するために必要な、消防用自動車及び車両積載品を更新整備する。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
資機材搬送車1台を更新し、消防体制の充実を図った。		本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、迅速かつ、的確な活動ができる車両を更新整備する。		
令和3年度決算額(千円)	8,290	令和4年度予算額(千円)	78,716	
事務事業名	消防団車両更新事業		担当課	消防総務課
概要	消防活動を維持するために必要な、非常備用消防車両及び車両積載品を更新整備する。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
消防ポンプ自動車1台を更新し、消防体制の充実を図った。 ⇒P11 写真③参照		本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、迅速かつ、的確な活動ができる車両を更新整備する。		
令和3年度決算額(千円)	19,739	令和4年度予算額(千円)	19,991	

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策② 消防・救急・救助体制の充実

事務事業名	鎌ヶ谷消防署改修事業		担当課	消防総務課
概要	鎌ヶ谷消防署の外壁等を改修し、建物の長寿命化を図るとともに、仮眠室個室化等の改修工事を行い、感染症防止対策の強化を図ることで、災害活動拠点としての機能を確保する。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
鎌ヶ谷消防署の外壁等を改修し建物の長寿命化を図り、災害活動拠点としての機能を確保した。 ⇒P11 写真④参照		仮眠室個室化等の改修工事を行うため、改修内容等を検討し、令和5年度予算に計上する。		
令和3年度決算額(千円)	54,067	令和4年度予算額(千円)	0	
事務事業名	消火栓改修事業		担当課	警防課
概要	令和3年度から令和8年度までの鎌ヶ谷市総合基本計画前期基本計画に基づき、計6基の消火栓を改修するうち、令和3年度は1基の消火栓を改修する。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
優先度の高い消火栓1基の改修を行った。		令和4年度は優先度の高い消火栓1基の改修を行う。		
令和3年度決算額(千円)	2,894	令和4年度予算額(千円)	2,900	
事務事業名	消防団装備品整備事業		担当課	警防課
概要	消防団員が効果的な活動を行うために、消防団装備品の充実強化を図る。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
消防団員の雨衣45着を防水性、透湿性に優れたものに更新したことで活動における身体への負担軽減につながった。		消防団員の雨衣について、防水性、透湿性に優れた雨衣への更新を行う。		
令和3年度決算額(千円)	743	令和4年度予算額(千円)	743	

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策② 消防・救急・救助体制の充実

施策の柱② 火災予防の推進

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
住宅用火災警報器の設置率	73.8%	72.6%	72.8%	73.1%
立入検査実施件数	400件	389件	7件	197件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	予防業務に要する経費	担当課	予防課
概要	火災予防を推進するため、消防訓練時の指導や住宅用火災警報器の設置普及及び維持管理を啓発するとともに、建築確認時の消防設備の設置指導や対象物の立入検査を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
秋の全国火災予防運動期間中の広報や、Twitter、Facebook及び市のホームページ等を活用し、住宅用火災警報器の設置普及及び維持管理を啓発した。また、建築確認や立入検査等により消防設備の設置指導を適正に実施した。		住宅用火災警報器の設置率は年々上昇しているが、設置後10年を経過している機器が多くなっていることから、設置済み機器の点検・交換等の維持管理に関する啓発を引き続き実施する。	
令和3年度決算額(千円)	2,579	令和4年度予算額(千円)	3,805

プロジェクト 1	誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり
重点施策② 消防・救急・救助体制の充実	

施策の柱③ 安心できる救急、救助体制づくり

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
救命講習開催回数	55回	48回	0回	9回
活動訓練実施回数（救急、救助）	930回	922回	816回	840回

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	警防業務に要する経費	担当課	警防課
概要	救急車到着までの間、現場に居合わせた人により適切な応急手当が実施できるよう、市民及び各種団体を対象に救命講習を実施する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
市広報等で地域住民に参加を呼びかけ、普通救命講習を9回実施し78人が参加した。		新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、安心して受講できる環境を整え、継続的な講習を実施する。また、感染症防止対策としてe-ランニング適応救命講習を整備し、積極的に実施する。	
令和3年度決算額(千円)	47,889	令和4年度予算額(千円)	17,725

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策③ 良好な居住環境の確保

- 施策の柱① 良好な居住環境の確保
- 施策の柱② 安全で安心な住宅の整備
- 施策の柱③ 住みよい公営住宅の充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R1	R2	R3
住宅の耐震化率	↑	77.9%	－%	－%
市内の空家率	↓	2.4%	2.3%	2.3%



プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策③ 良好な居住環境の確保

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 良好な居住環境の確保

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
木造住宅等の検査済証の交付率	100%	100%	87%	98%
宅地、建物のパトロール件数	170件	121件	100件	113件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	建築指導に要する経費	担当課	建築住宅課
概要	建築基準法、建設リサイクル法、建築物省エネルギー法、低炭素法等に基づく各種申請の審査、検査、指導、相談及び建築物全般に関する相談。		
令和3年度の実績		令和4年度の取組内容	
計画的な宅地、建物のパトロールを実施し、検査済証交付率は前年度比112%、パトロール件数は前年度比113%となった。		引き続き、宅地・建物のパトロール等を計画的に実施し、違反建築物等の防止の促進を図る。	
令和3年度決算額(千円)	1,064	令和4年度予算額(千円)	1,179
事務事業名	建築データベースシステム整備事業	担当課	建築住宅課
概要	建築確認証明書等の発行業務の迅速化を図るため、地図情報、建築確認履歴、道路の種別などの情報をシステム化するもの。		
令和3年度の実績		令和4年度の取組内容	
建築データベースシステムの整備に着手し、運用に必要なデータの搭載を完了させて運用を開始した。		システムの運用方法を精査、検証するとともに、搭載されているデータの更新等の運用方法を確立させる。	
令和3年度決算額(千円)	1,430	令和4年度予算額(千円)	8,376

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策③ 良好な居住環境の確保

施策の柱② 安全で安心な住宅の整備

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
住宅耐震改修促進事業補助件数	15件	15件	10件	9件
空家等の解消件数（累計）	445件	205件	268件	322件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	住宅耐震改修促進事業	担当課	建築住宅課
概要	旧耐震基準による木造住宅の耐震診断・改修工事費の一部補助や無料耐震相談会、危険コンクリートブロック塀除却補助を行うもの。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
耐震補助申請は前年度を上回ったが、危険コンクリートブロック塀補助は前年度を下回り、全体としては前年度比81%となった。		相談会の簡易耐震診断で耐震基準を下回った所有者に対し、耐震補助の申請を促す。また、通学路沿いなどのブロック塀の点検を計画的に行い、危険なブロック塀等の所有者に対して補助制度の利用を周知することで、木造住宅の耐震化及び危険コンクリートブロック塀の除却の推進を図る。	
令和3年度決算額(千円)	1,869	令和4年度予算額(千円)	4,700
事務事業名	空家等対策事業	担当課	建築住宅課
概要	空家等対策計画に基づきこれまでの空家等対策に加え、空家等の適正な管理の推進とあわせて空家等の有効活用といった視点も含め、総合的、計画的な空家等対策を実施する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
(1) 空家等管理システムにおける家屋図データ形式の変換委託及びシステム更新を実施した。 (2) 相続財産管理人選任の申し立てを1件実施した。 ⇒P16 写真⑤参照		空家等対策計画の見直しにあたり市内全域を対象とした空家等実態調査を実施する。 また、空家等除却補助事業及び相続財産管理人選任の申し立て（1件）を行う。	
令和3年度決算額(千円)	1,452	令和4年度予算額(千円)	8,229

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策③ 良好な居住環境の確保

施策の柱③ 住みよい公営住宅の充実

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
市内公営住宅の供給戸数	401戸	382戸	382戸	382戸
外壁、屋上防水等改修率（市内公営住宅）	50%	10%	10%	10%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	市営住宅の管理運営に要する経費		担当課	建築住宅課
概要	市営住宅の施設等の適切な維持管理及び適切な入居者管理を行う。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
市営住宅の円滑な管理運営を図るため、施設の維持管理業務の委託、入居者管理及び空家募集等に関する事務を実施した。 ⇒P16 写真⑥参照		市営住宅の住環境改善(公共下水道切替等)、適切な維持管理及びそれらのための適切な家賃徴収を行う。		
令和3年度決算額(千円)	18,674	令和4年度予算額(千円)	36,982	
事務事業名	市営住宅長寿命化事業		担当課	建築住宅課
概要	対症療法型の維持管理から予防保全型の維持管理へ転換することによって、対象施設の耐久性の向上、躯体の経年劣化の軽減等を行うことで長寿命化を図る。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
市営住宅の長寿命化を図るため、長谷津E棟屋上防水・外壁改修工事実施設計を完了した。		長谷津市営住宅E棟の屋上防水・外壁改修工事を実施する。		
令和3年度決算額(千円)	2,342	令和4年度予算額(千円)	78,345	

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策④ 治水対策の推進

施策の柱①

安心して暮らせる治水対策

施策の柱②

きれいでうるおいのある水辺環境の保全

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R1	R2	R3
浸水面積	↓	123.4ha	122.1ha	122.1ha
床上、床下浸水件数	↓	29件	0件	2件



<写真⑦>

準用河川整備事業

(準用河川二和川バイパス整備工事)



<写真⑧>

流域環境整備事業

(除草委託)

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策④ 治水対策の推進

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 安心して暮らせる治水対策

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
準用河川二和川バイパス整備率	100%	37.7%	59%	71.9%
雨水貯留池の容量	48,720m ³	43,520m ³	43,520m ³	43,520m ³

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	準用河川整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	鎌ヶ谷市内の準用河川の流下能力向上を目的に、1時間当たり50mmの降雨に対応した改修を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
<p>準用河川二和川バイパス整備（第7期）工事が完了した（延長63m）。</p> <p>準用河川二和川拡幅整備の用地取得した（面積278.43m²）。</p> <p>準用河川二和川護岸改修第32期に伴う舗装復旧が完了した（延長19m）。</p> <p>⇒P20 写真⑦参照</p>		<p>浸水被害改善に向け国交付金の確保に努め、浸水被害の軽減に効果的な整備及び用地取得等を進める。</p>	
令和3年度決算額(千円)	309,248	令和4年度予算額(千円)	328,113
事務事業名	河川・水路整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	鎌ヶ谷市の下流流域に位置する水路について、事業主体市に負担金を支出し1時間当たり50mmの降雨に対応した水路改修を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
<p>敷川改修事業は協定延長1,259mのうち、919mが完成した。</p> <p>金山落支水路改修事業は、実施設計の完成、用地取得及び工事が完了した。</p> <p>これら事業に必要な負担金を事業主体市に支出した。</p>		<p>事業主体市と協議し1時間当たり50mmの降雨に対応した整備を行う。</p>	
令和3年度決算額(千円)	6,916	令和4年度予算額(千円)	16,660

重点施策④ 治水対策の推進

事務事業名	地域排水整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	鎌ヶ谷市内の道路冠水を解消するための地域排水施設の能力不足や未整備箇所について、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
<p>①東道野辺5丁目は実施設計完了、詳細設計を発注した。②鎌ヶ谷2丁目は工事完了に伴い家屋事後調査を実施した。③東初富2丁目は貯留槽を設置した。④東初富字五本松はマンホールポンプ設置及び舗装復旧を実施した。⑤雨水浸透柵モニターを15基設置した。</p>		<p>浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある個所の選定を行う。</p>	
令和3年度決算額(千円)	42,106	令和4年度予算額(千円)	65,430
事務事業名	雨水貯留池整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	大雨時における流出抑制のための貯留池整備を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
<p>串崎新田貯留池実施設計委託を行った（設計1式）。 串崎新田貯留池整備に必要な用地を取得した（面積1330.09㎡）。</p>		<p>串崎新田貯留池の整備に必要な用地取得及び設計を行う。</p>	
令和3年度決算額(千円)	53,406	令和4年度予算額(千円)	83,340

プロジェクト 1

誰もが安心して暮らせる防災、減災のまちづくり

重点施策④ 治水対策の推進

施策の柱② きれいでうるおいのある水辺環境の保全

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
雨水浸透柵モニター設置数（累計）	281基	176基	191基	206基
河川、水路除草面積	65,500㎡	104,999㎡	103,548㎡	111,516㎡

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	流域環境整備事業		担当課	道路河川管理課
概要	河川、水路、調整池の適正な管理を行うため、除草、清掃やパトロールの委託を行うとともに、必要な補修工事を行う。			
	令和3年度の実績		令和4年度の実績	
	河川・水路等の適正な維持管理を行うため、除草、清掃やパトロールの委託を行うとともに、補修が必要な箇所について補修工事を行った。 ⇒P20 写真⑧参照		鎌ヶ谷市の河川等施設に応じた点検方法の検討。	
	令和3年度決算額(千円)	29,829	令和4年度予算額(千円)	43,877

プロジェクト 2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策① 子育て環境の充実

施策の柱① 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援

施策の柱② きめ細かな支援が必要な子ども、子育て家庭への支援

施策の柱③ 地域全体で子育てを支えるための環境整備

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R1	R2	R3
合計特殊出生率	↑	1.22	1.23	-
子育て支援事業の満足度	↑	-%	73.1%	73.0%



<写真⑨>

母子保健に要する経費
(ブックスタート事業)



<写真⑩>

児童センターの管理運営に要する経費
(栗野児童センター)

プロジェクト 2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策① 子育て環境の充実

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
乳児家庭全戸訪問事業 訪問率	96%	96%	96%	97.6%
つどいの広場利用人数	34,000人	25,859人	13,986人	21,312人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	児童総務事務に要する経費	担当課	こども支援課
概要	子ども・子育て会議において、子ども子育て支援事業計画の進捗状況や子ども・子育て施策等を審議する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
子ども・子育て会議において、子ども・子育て支援事業計画の進捗状況を報告し、点検などを行い計画の推進を図るとともに、新たな認定こども園の定員等について、審議を行った。		令和4年度は第2期子ども・子育て支援事業計画の中間年となることから、各事業の「量の見込み」と「利用実績」などが大きく乖離している場合には、必要に応じて見直すこととしている。	
令和3年度決算額(千円)	15,526	令和4年度予算額(千円)	9,535
事務事業名	母子保健に要する経費	担当課	健康増進課
概要	妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を提供するため、母子保健に関する啓発、健診、相談、育児支援を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
感染対策を講じながら妊婦面接や保健指導、個別育児相談を実施し、切れ目のない子育て支援を実施した。 ⇒P24 写真⑨参照		紙ベースの母子健康手帳と併せて、手軽にアクセス可能な母子手帳アプリの導入準備を行うとともに、「かまがや子育てアプリ」との統合を図る。	
令和3年度決算額(千円)	86,611	令和4年度予算額(千円)	92,316

プロジェクト 2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策① 子育て環境の充実

事務事業名	つどいの広場の運営に要する経費	担当課	こども支援課
概要	各児童センターでつどいの広場を実施し、おおむね3歳児未満の乳幼児とその保護者が、気軽に集い相互交流をする場を提供する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
新型コロナウイルス感染症の影響から、時間制限や一部のイベントを中止するなどの感染対策を講じながら事業を実施した。このため、令和2年度と比較して利用人数は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響前と比較して減少している。		アドバイザーの資質の向上及び相談業務の充実を図るとともに、感染症対策を継続しながら事業を実施する。また、利用者のニーズに沿った事業展開を実施するため、アンケート調査を実施していく。	
令和3年度決算額(千円)	10,447	令和4年度予算額(千円)	12,170
事務事業名	結婚新生活支援事業	担当課	企画財政課
概要	新婚世帯の新生活に係る住宅費及び引越費用の一部に対し、予算の範囲内において鎌ヶ谷市結婚新生活支援事業補助金を交付するもの。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
本事業の申請者を対象としたアンケートでは、本事業の認知度（婚姻届出の前に本事業を認知していた割合）は67%、地域に応援されていると感じた世帯の割合は100%だった。		<ul style="list-style-type: none"> ・鎌ヶ谷市への転入者を対象とした事業であるため、申請者がよりプラスな気持ちで鎌ヶ谷市に転入できるよう、懇切丁寧な対応を心がける。 ・申請者とのやり取りが多いため、可能な範囲で電話番号以外の連絡方法（email）を取得する。 	
令和3年度決算額(千円)	2,375	令和4年度予算額(千円)	3,000

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策① 子育て環境の充実

施策の柱② きめ細かな支援が必要な子ども、子育て家庭への支援

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
児童虐待防止(子育て関係) 講座等の開催回数	38回	15回	7回	15回
ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金受給者数	12人	8人	6人	7人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	家庭児童相談に要する経費	担当課	こども支援課
概要	子どもや家庭に関する相談。児童虐待発生予防、早期発見、早期対応。鎌ヶ谷市虐待防止対策等地域協議会の運営を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
鎌ヶ谷市子ども虐待予防・対応マニュアルの更なる周知を図るため、ダイジェスト版を作成した。		こども総合相談室の周知を図るとともに、相談しやすい環境とするためのリーフレットを市民向けに作成し、周知を行う。	
令和3年度決算額(千円)	18,552	令和4年度予算額(千円)	18,694
事務事業名	母子等福祉に要する経費	担当課	こども支援課
概要	ひとり親家庭等の福祉の増進を図るため、各種制度に基づき、助成金等の支給を行うもの。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
経済的な支援及び自立支援を行うことにより、ひとり親家庭等の福祉の増進につながった。		適正な助成事務を遂行するため、ひとり親家庭等に係る制度案内チラシの見直しを行い、市民へ制度の周知を図る。	
令和3年度決算額(千円)	66,299	令和4年度予算額(千円)	87,256

プロジェクト 2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策① 子育て環境の充実

施策の柱③ 地域全体で子育てを支えるための環境整備

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
児童センター利用人数	126,000人	99,378人	40,930人	58,788人
子育てサポーター活動回数	800回	740回	0回	214回

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	児童遊園等の管理に要する経費	担当課	こども支援課
概要	市内16箇所の児童遊園について、適切な管理を行い児童に健全な遊びを与える。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
職員による定期的な児童遊園の遊具等の点検を実施するとともに、老朽化した北中沢3丁目児童遊園のブランコの改修などを実施した。		市内16箇所の児童遊園について、専門業者による遊具の一斉点検を実施するとともに、この点検により改修が必要と判定された遊具について、改修を実施する。	
令和3年度決算額(千円)	5,556	令和4年度予算額(千円)	6,480
事務事業名	児童センターの管理運営に要する経費	担当課	こども支援課
概要	児童への健全な遊びを通して、その体力を増進し、情操を豊かにするとともに、地域での子育て支援を図る。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
新型コロナウイルス感染症の影響から、時間制限や一部のイベントを中止するなどの感染対策を講じながら運営した。このため、令和2年度と比較して利用人数は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響前と比較して減少している。 ⇒P24 写真⑩参照		リフレッシュ事業や体験教室などについては、人数制限し、感染症対策を徹底しながら子どもや家庭のニーズに合わせた内容を実施していく。 また、利用者のニーズに沿った事業展開を実施するため、アンケート調査などを実施していく。	
令和3年度決算額(千円)	41,319	令和4年度予算額(千円)	45,901

プロジェクト 2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策① 子育て環境の充実

事務事業名	(仮称) 東部地区児童センター設置事業	担当課	こども支援課
概要	児童センターが未整備となっている東部地区に、(仮称) 東部地区児童センターを整備する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実組内容	
<p>用地測量などを実施し、用地を取得するほか、実施設計委託を実施したが、想定していなかった土地の高低差による測量業務が必要となり、実施設計委託の完了には至らず、令和4年度への事業を繰越することとなった。</p>		<p>実施設計委託に基づき建築工事を実施するとともに、児童センターの運営に必要な備品や消耗品などを精査していく。</p>	
令和3年度決算額(千円)	143,774	令和4年度予算額(千円)	157,054

プロジェクト 2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策② 保育サービスの充実

施策の柱① 幼稚園、保育園の充実

施策の柱② 放課後児童クラブの充実

施策の柱③ 多様な家庭に対応した保育サービスの充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R1	R2	R3
待機児童数（保育園、放課後児童クラブ）	→	0人	0人	0人
合計特殊出生率	↑	1.22	1.23	-



<写真⑪>
民間保育所等整備助成事業
(認定こども園)



<写真⑫>
放課後児童クラブの管理運営に要する経費
(鎌ヶ谷小学校第2放課後児童クラブ)

重点施策② 保育サービスの充実

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 幼稚園、保育園の充実

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
子育て支援員研修の受講率	50%	13.6%	16.3%	24.7%
保育所定員数	1,635人	1,545人	1,545人	1,545人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	民間保育所等の補助に要する経費		担当課	幼児保育課
概要	民間保育所等の運営に補助を行う。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
民間保育所等の運営において、延長保育事業や保育士処遇改善等を行うための経費に対し補助を行うことで、安定的な保育サービスを提供した。		国の緊急補正に伴う事業者が必要とする補助に対し、補正予算等により対応する。		
令和3年度決算額(千円)	317,648	令和4年度予算額(千円)	462,760	
事務事業名	私立幼稚園等に要する経費		担当課	幼児保育課
概要	幼児教育・保育の無償化に伴い、施設等利用給付認定を受けた子どもに必要な助成を行うもの。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
市内の私立幼稚園利用者に対し、私立保育園施設等利用費や私立幼稚園預かり保育利用助成金等の給付を行い、私立幼稚園に対しては、預かり保育運営に係る補助を行うことで、幼稚園の利用を促進した。		施設等利用費の適正な給付事務を継続するとともに、前年度実績に基づき事務、予算等を精査し事業の精度を向上させる。		
令和3年度決算額(千円)	503,233	令和4年度予算額(千円)	499,986	

重点施策② 保育サービスの充実

事務事業名	民間保育所等整備助成事業	担当課	幼児保育課
概要	待機児童対策及び保育サービスの拡大のため、民間事業者による保育所整備の助成を行う。令和2年度は公募により事業者の選定を行い、令和3年度は保育所整備を行う民間事業者に施設の認定手続きや補助金の申請手続きを実施した。		
令和3年度の実績		令和4年度の取組内容	
民間事業者による保育所等整備への助成を行い、令和4年4月に本市初の認定こども園（定員90名）が開設された。 ⇒P30 写真⑪参照		交付金の精算事務（実績報告等）を適正に進める。	
令和3年度決算額(千円)	91,911	令和4年度予算額(千円)	0
事務事業名	保育園改修事業	担当課	幼児保育課
概要	市立保育園が良好な保育環境を維持できるよう施設の改修を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の取組内容	
老朽化した道野辺保育園他2園の防火扉や防火シャッター等の防火設備について改修工事を実施することで、保育園の防火機能の強化を図った。		実施計画に基づき事業を実施する。施設の老朽化に伴う長寿命化について検証する。	
令和3年度決算額(千円)	17,719	令和4年度予算額(千円)	40,000

プロジェクト 2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策② 保育サービスの充実

施策の柱② 放課後児童クラブの充実

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
放課後児童クラブが楽しいと思う児童の割合	80%	-%	60.2%	52.4%
放課後児童クラブの定員数	827人	806人	825人	827人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	放課後児童クラブの管理運営に要する経費		担当課	こども支援課
概要	小学校において放課後児童クラブを管理運営し、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校就学児童に、授業の終了後に適切な遊びと生活の場を与えて、その健全な育成を図る。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
すべての小学校9校で16クラブの放課後児童クラブを委託方式で実施するとともに、児童の安全性や利便性の向上を図るため、毎月、運営状況を現地において確認するほか、定期的に運営事業者との会議を開催した。 ⇒P30 写真⑫参照		引き続き、児童が楽しく過ごせ、保護者が安心して預けることができる運営とするため、毎月、運営状況を現地において確認するほか、定期的に運営事業者との会議を開催し、運営方法について協議を行っていく。		
令和3年度決算額(千円)	237,313	令和4年度予算額(千円)	244,334	
事務事業名	放課後児童クラブ整備・改修事業		担当課	こども支援課
概要	「放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例」に基づき、放課後児童クラブの施設整備・改修を行う。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
北部小学校放課後児童クラブ施設の改修工事を実施し、施設の環境改善、子どもの安全性及び利便性の向上を図ることができた。		東部小学校放課後児童クラブについては、2クラブ体制による運営を行うとともに、施設環境の改善を図る必要があることから。既存クラブの改善を行うため、令和4年度は工事に向けた設計委託を行う。		
令和3年度決算額(千円)	6,345	令和4年度予算額(千円)	2,700	

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策② 保育サービスの充実

施策の柱③ 多様な家庭に対応した保育サービスの充実

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
子育て支援員研修の受講率	50%	13.6%	16.3%	24.7%
保育所定員数	1,635人	1,545人	1,545人	1,545人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	児童総務事務に要する経費	担当課	幼児保育課
概要	保育認定を受けた子どもに対して必要な助成を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
施設等利用給付認定を受けた子どもが、認可外保育施設や一時預かり事業を利用した場合に、月額37,000円～42,000円を上限に施設等利用給付等を行った。		適正な給付事務を継続するとともに、前年度実績に基づき事務、予算等を精査し事業の精度を向上させる。	
令和3年度決算額(千円)	36,116	令和4年度予算額(千円)	12,690
事務事業名	ファミリー・サポート・センターの運営に要する経費	担当課	こども支援課
概要	様々な事情で一時的に子どもの世話ができない場合等、地域の住民同士で相互援助の形式で支え合いを行い、子育て支援を実施する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
提供会員数は164人、ファミリーサポートの利用件数は2,971件で、前年度と同程度の援助活動を行うことができた。		利用件数が減少しているため、子育て世帯がより利用のしやすい制度とする必要があることから、ひとり親世帯利用料助成金の対象者拡大を実施する。	
令和3年度決算額(千円)	3,775	令和4年度予算額(千円)	4,355

重点施策③ 学校教育の充実

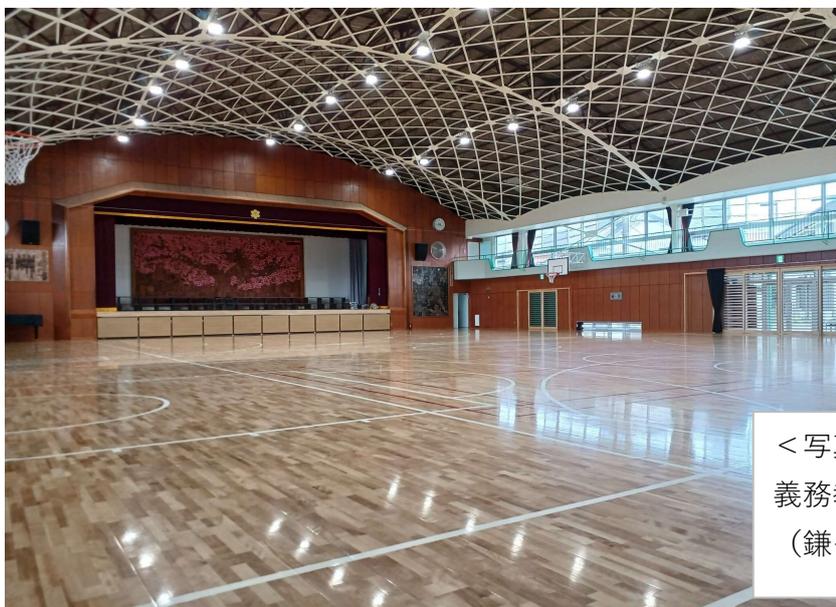
施策の柱① 安全で安心な教育環境の確保

施策の柱② 生きる力をはぐくむ特色ある学校づくり

施策の柱③ 専門性と社会性を備えた教職員の育成

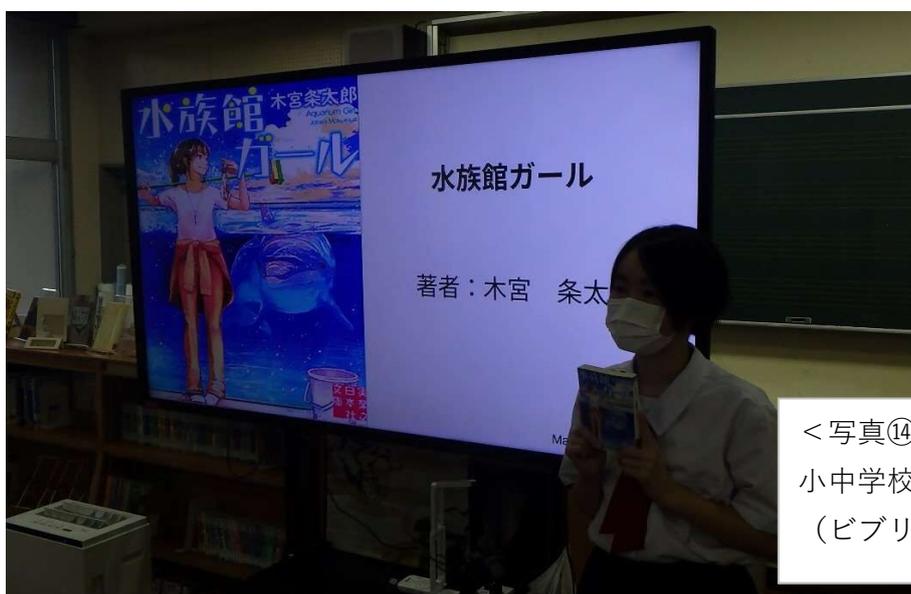
(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R1	R2	R3
教職員、保護者等からの学校施設満足度の割合	↑	—%	—%	71.3%
授業の中で課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた児童生徒の割合	↑	—%	—%	80.5%



<写真⑬>

義務教育施設維持補修事業
(鎌ヶ谷小学校体育館)



<写真⑭>

小中学校 ICT 環境整備事業
(ビブリオバトル)

重点施策③ 学校教育の充実

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 安全で安心な教育環境の確保

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
外壁、屋上防水等改修率	35.5%	32.3%	32.3%	32.3%
小中学校トイレの整備進捗率	94.6%	46.4%	67.9%	87.5%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	義務教育施設維持補修事業		担当課	教育総務課
概要	老朽化した施設、設備等について、計画的に施設改修を行い、学習環境の向上を図る。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
<p>予定した次の事業を全て計画通りに完了し、学習環境の向上を図った。</p> <p>①南部小学校、鎌ヶ谷中学校、第二中学校、第三中学校、第四中学校トイレ改修工事</p> <p>②鎌ヶ谷小学校体育館改修工事</p> <p>③南部小学校、初富小学校、五本松小学校、第四中学校、第五中学校防火戸・防火シャッター改修工事</p> <p>④北部小学校、道野辺小学校受変電設備改修工事</p> <p>⇒P35 写真⑬参照</p>		<p>南部小学校体育館改修、第三中学校・第四中学校・第五中学校トイレ改修、東部小学校校舎外壁・屋上防水改修（令和4-5年度継続事業）などの改修工事を実施する。</p>		
令和3年度決算額(千円)	1,331,785	令和4年度予算額(千円)	1,172,974	
事務事業名	義務教育施設楽器更新事業		担当課	教育総務課
概要	小中学校において、購入から年数が経過し、老朽化が進んでいる楽器の更新を行う。また、令和元年度にリース方式により更新したグランドピアノの賃借料の支払いを行う。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
<p>小学校9校において、楽器の更新を行うとともに、全小中学校のグランドピアノについて、賃借料の支払いを行った。</p>		<p>4年度は、中学校5校において楽器の更新を行うとともに、令和元年度にリース方式により更新した全小学校のグランドピアノについて、賃借料の支払いを行う。また、新たに鎌ヶ谷小学校音楽室のグランドピアノ（1台）について更新する。</p>		
令和3年度決算額(千円)	10,421	令和4年度予算額(千円)	10,826	

プロジェクト 2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策③ 学校教育の充実

施策の柱② 生きる力をはぐくむ特色ある学校づくり

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
ICT教育機器の1日の授業における使用割合	50%	—%	—%	41.7%
学校図書館図書標準の達成校	14校	12校	13校	14校

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	小学校の図書に要する経費	担当課	教育総務課
概要	計画的かつ継続的に学校図書館用図書の購入を進める。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
図書の購入を計画どおり進め、学習環境の向上を図った。		学校図書館の有効活用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全小学校における図書館図書標準100%を継続していく。	
令和3年度決算額(千円)	9,528	令和4年度予算額(千円)	9,557
事務事業名	中学校の図書に要する経費	担当課	教育総務課
概要	計画的かつ継続的に学校図書館用図書の購入を進める。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
図書の購入を計画どおり進め、学習環境の向上を図った。		学校図書館の有効活用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全中学校における図書館図書標準100%を継続していく。	
令和3年度決算額(千円)	6,964	令和4年度予算額(千円)	6,975

プロジェクト 2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策③ 学校教育の充実

事務事業名	教育指導に要する経費	担当課	学校教育課
概要	鎌ヶ谷市学力調査、学校図書館司書の全校配置、小学校の理科支援員の配置、日本語指導講師の派遣、デジタル教科書の継続使用、いじめ対策、自主公開助成金や研究指定助成金等の交付を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
<p>学力調査の結果分析を行うことで経年変化を追うことができ、授業改善に生かすことができた。理科支援員の配置により、実験等授業の内容が充実した。図書館司書の全校配置により、市立図書館の資料や学校間の資料の貸し出しができ授業が充実した。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査の結果分析についての希望者向け研修を実施し、授業改善に生かせるようにする。 ・デジタル教材の活用についての情報交換会を実施し、効果的な使用についての共通理解を図る。 ・図書館司書連絡協議会にて情報共有する。 	
令和3年度決算額(千円)	54,236	令和4年度予算額(千円)	55,282
事務事業名	小中学校 I C T 環境整備事業	担当課	学校教育課
概要	GIGAスクール構想に対応した高速大容量通信ネットワークの環境維持および、児童生徒1人1台の学習用コンピュータの維持管理を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
<p>各学校がコンピュータ室にあるパソコンで調べ学習を行っていたが、端末利用によっていつでも可能となった。新型コロナウイルス感染症の拡大により学級閉鎖を行った学級について、1人1台端末を各家庭に持ち帰り、活用できた。</p> <p>⇒P35 写真⑭参照</p>		<p>I C T 活用推進委員会において各学校の実践事例を持ち寄り、情報共有する。また、通信状況についても確認し、支障のない範囲での活用について提案していく。</p>	
令和3年度決算額(千円)	129,640	令和4年度予算額(千円)	94,503

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策③ 学校教育の充実

施策の柱③ 専門性と社会性を備えた教職員の育成

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
自主公開取組み校	12校	9校	5校	4校
児童生徒と向き合う時間を確保できている教職員の割合	95%	68.2%	65.2%	71.4%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	教職員の研修に要する経費		担当課	学校教育課
概要	市内小中学校の教職員の資質・能力向上と専門性の確立を図るため、研修・研究の支援を行う。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
新型コロナウイルスの影響により自主公開の学校数が減少した。		教員が自主的に研修に取り組めるよう、各研修組織において内容を吟味するよう指導していく。		
令和3年度決算額(千円)	423	令和4年度予算額(千円)	424	
事務事業名	小学校の管理運営に要する経費		担当課	教育総務課
概要	良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
学校施設の修繕や消耗品・備品の購入など予定した事業を全て計画通りに完了し、学習環境の向上を図った。		学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。		
令和3年度決算額(千円)	253,752	令和4年度予算額(千円)	306,638	
事務事業名	中学校の管理運営に要する経費		担当課	教育総務課
概要	良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
学校施設の修繕や消耗品・備品の購入など予定した事業を全て計画通りに完了し、学習環境の向上を図った。		学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。		
令和3年度決算額(千円)	153,725	令和4年度予算額(千円)	146,506	

重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

施策の柱① 保健、安全教育の充実

施策の柱② 児童生徒の安全確保

施策の柱③ 学校給食の充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R1	R2	R3
標準体重の児童生徒の割合	↑	90.4%	86.9%	89.4%
児童生徒の交通事故の発生件数	↓	14件	14件	9件



<写真⑮>

学校保健事務に要する経費
(フッ化物洗口)



<写真⑯>

学校給食運営に要する経費
(市制施行50周年記念給食)

重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 保健、安全教育の充実

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
児童生徒の定期健康診断受診率	95.5%	95.1%	95.3%	94.7%
児童生徒の定期健康診断受診勧告後の医療機関受診率	60%	54.9%	54.4%	53.5%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	学校保健事務に要する経費		担当課	学校教育課
概要	児童生徒等の心身の発達と健康を保持するため、環境衛生検査、健康診断、感染症の予防等を実施する。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
就学時健康診断及び定期健康診断を実施し、児童生徒等の疾病の早期発見と健康管理を行い、結果に基づく受診勧奨等を行った。環境衛生検査を行い、改善が必要な項目について把握し必要な対策を講じた。また、AEDを市の設置方針に基づき配備した。 ⇒P40 写真⑮参照		児童生徒等の定期健康診断について、現行の精度を保ち、かつ、新型コロナウイルス感染症対策に配慮して実施する。		
令和3年度決算額(千円)	35,943	令和4年度予算額(千円)	38,823	
事務事業名	学校安全事務に要する経費		担当課	学校教育課
概要	学校管理下における児童生徒等の怪我等に対する日本スポーツ振興センターの災害共済や、全国市長会との契約による補償等に要する経費を負担する。 また、小学校新1年生に交通安全用として黄色い帽子を配布する。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
児童生徒が学校管理下で発生した災害により負傷や疾病を受けた場合に、その治療（保険治療）に要した医療費や見舞金を支給し、保護者の費用負担軽減を図った。		各学校の養護教諭と連携をとり、事務手続きに遺漏の無いよう周知する。		
令和3年度決算額(千円)	11,236	令和4年度予算額(千円)	11,529	

重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

施策の柱② 児童生徒の安全確保

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
子ども自転車安全運転講習会、スケアード・ストレイト自転車交通安全教室の実施回数	11回	10回	2回	13回
こども110番の家の登録件数（累計）	1,464件	1,324件	1,355件	1,313件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	非行防止対策の推進に要する経費		担当課	青少年センター
概要	子どもたちの非行防止を図り、また安全確保を図るため、子どもの安全メールを発信する。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
市内小中学校の依頼に対し迅速に配信する「子ども安全メール」の登録者が地域ぐるみでのこどもたちの見守り活動の重要性の啓発を行ったことで前年度より285件増加した。		関係機関と連携し、街頭パトロール、子どもたちや保護者からの相談受け付け、「こども110番の家」の推進などを重点に活動する。		
令和3年度決算額(千円)	11,719	令和4年度予算額(千円)	12,480	
事務事業名	通学路安全対策事業		担当課	学校教育課
概要	第4次通学路安全対策推進行動計画に基づき、通学路の環境整備を行う。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
要望や緊急一斉点検で必要とされた環境整備を実施した。スケアード・ストレイト自転車交通安全教室は感染症対策により1回あたりの受講人数を抑え実施回数を増やすことで対応した。通学区域変更に伴う児童付添活動を実施し児童の安全を確保した。		令和3年度の要望箇所に加え令和3年度に実施した、通学路緊急一斉点検の対策を引き続き実施する。自転車講習会など安全指導面も継続して実施する。		
令和3年度決算額(千円)	14,683	令和4年度予算額(千円)	26,913	

プロジェクト 2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

事務事業名	児童生徒安全パトロール事業	担当課	学校教育課
概要	市内の指定通学路や公園などにおいて、不審者等に対する警戒パトロール及び下校時の見守りを行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
市内全域を12名6班体制でパトロールを実施した。また、夏休み等の長期休業の時は、児童生徒の集まる公園等も重点的に巡回した。		学校、地域、青少年センター、警察と引き続き情報共有し、通学路を中心にパトロールを実施していく。	
令和3年度決算額(千円)	12,068	令和4年度予算額(千円)	16,502
事務事業名	通学路整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	児童や生徒が安全に通学できるよう歩道を整備し通学路の安全性向上を図る。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
市道1号線（西部小学校、第三中学校の通学路）の拡幅に必要な用地を取得し暫定的に歩行者の利用スペースを整備した。また市道49号線（五本松小学校、第五中学校の通学路）の用地取得に向けた測量を行った。 市道1号線用地取得率 44.4% 市道49号線用地取得率 0%		市道1号線及び市道49号線について、事業完了を目指して、用地取得を進める。	
令和3年度決算額(千円)	77,728	令和4年度予算額(千円)	94,077

プロジェクト2

未来を担う子どもをみんなで応援するまちづくり

重点施策④ 児童・生徒の健康及び安全等の確保

施策の柱③ 学校給食の充実

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
鎌ヶ谷産野菜、果実使用献立数	22回	17回	15回	20回
食育指導の実施回数	34回	25回	18回	12回

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	学校給食運営に要する経費		担当課	学校教育課
概要	安全で魅力ある学校給食を提供し、子どもたちの健康の保持・増進を図るとともに食への関心を高める。			
	令和3年度の実績		令和4年度の実績	
	①小中学校14校の児童生徒8,024人（令和3年5月1日現在）に対し年間184日学校給食を実施 ②アレルギー対応食を17人に対し提供 ③給食だより11回/年の配付 ④学校による給食センター見学（26クラス781人） ⑤SNSによる献立紹介 ⇒P40 写真⑩参照		地産地消食材の積極的活用および学校との食育連携、食物アレルギー除去食の安全な提供を実施する。	
	令和3年度決算額(千円)	897,975	令和4年度予算額(千円)	913,299

重点施策① 快適な公園・緑地空間の創出

施策の柱① 公園、緑地の適正な維持管理の推進

施策の柱② みどりの保全と創出

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R1	R2	R3
市民1人当たりの都市公園面積	↑	3.3㎡/人	3.3㎡/人	3.3㎡/人
緑地の面積	→	612ha	607ha	601ha



<写真⑰>
公園施設長寿命化事業
(北初富公園)



<写真⑱>
公園施設長寿命化事業
(市制記念公園トイレ)

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策① 快適な公園・緑地空間の創出

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 公園、緑地の適正な維持管理の推進

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
都市公園の遊具等の改修、更新数(累計)	142基	65基	75基	92基
公園サポーター制度による協働管理の公園数	50か所	42か所	40か所	40か所

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	公園維持管理に要する経費	担当課	公園緑地課
概要	都市公園及びふれあいの森の清掃、除草、樹木剪定、施設の管理及び維持工事を実施する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
公園の清掃、樹木の剪定、施設の修繕などを実施し、公園緑地の適切な維持管理の推進ができ修繕の件数が減った。また、公園や緑地の面積が増えたことにより、管理委託する公園数が増えた。		公園施設の適正な維持管理に努める。また、公園サポーターと密に調整を行い、公園の状況に応じた管理を行う。	
令和3年度決算額(千円)	173,233	令和4年度予算額(千円)	208,732
事務事業名	公園施設長寿命化事業	担当課	公園緑地課
概要	公園施設の長寿命化計画に基づき、計画的な更新、改修を行うことにより、公園施設の安全を確保する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
20施設の更新工事の実施により施設の長寿命化、利用者の安全の確保及び財源平準化ができ大幅に改修、更新数を伸ばすことができた。また市制記念公園管理棟脇のトイレの改修工事を実施し、快適な公園・緑地環境の創出ができた。 ⇒P45 写真⑰⑱参照		引き続き、長寿命化計画に基づき、維持管理を実施するとともに新たな長寿命化計画を策定する。	
令和3年度決算額(千円)	63,015	令和4年度予算額(千円)	36,010

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策① 快適な公園・緑地空間の創出

施策の柱② みどりの保全と創出

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
保全林指定数	10か所	10か所	10か所	10か所
公園等設置数	256か所	240か所	243か所	245か所

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	緑化推進に要する経費		担当課	公園緑地課
概要	公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借、保全林等の指定、用地取得などを行い、緑の保全と創出を行う。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
市民一人当たりの公園面積を増加させるため、緑道用地の購入を継続した。緑地面積を維持するため、公園用地として使用する賃貸借契約の更新や、保全林及びふれあいの森に助成金の交付を実施したが、緑地面積が減少した。		公園用地の賃貸借、ふれあいの森、保全林等の指定により緑の保全に努め、緑とふれあえる場を提供する。		
令和3年度決算額(千円)	20,767	令和4年度予算額(千円)	20,696	
事務事業名	街区公園整備事業		担当課	公園緑地課
概要	街区公園整備のための用地取得、実施設計及び整備工事などを実施する。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
都市公園面積を増加させるため、用地買戻しを計画通り進捗させたが、旧第一学校給食センターの公園整備は年度内に竣工しなかったため、市民一人当たりの公園面積増加に結びつかなかった。		鎌ヶ谷一丁目ふれあいの森の実施設計、丸山三丁目ふれあいの森の用地買戻し、旧第一学校給食センター跡地の公園を供用開始する。		
令和3年度決算額(千円)	311,433	令和4年度予算額(千円)	99,502	
事務事業名	緑の基本計画策定事業		担当課	公園緑地課
概要	緑地の保全及び緑化の推進に関する基本方針及び施策を定める。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
計画骨子（基本理念、緑の将来像、基本方針、計画期間及び計画対象区域等、計画の目標）を策定したことで、委託内容の50%が完了した。		新型コロナウイルス感染症の再拡大等も視野に入れ、業務委託の作業及び検討委員会の開催等に遅れが生じないように取り組む。		
令和3年度決算額(千円)	3,520	令和4年度予算額(千円)	11,016	

重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実

施策の柱① 計画的な道路網の整備

施策の柱② 既存の道路空間の安全性、快適性の確保

施策の柱③ 道路の適正な維持管理及び交通安全対策の推進

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R1	R2	R3
市道延長	↑	242km	244km	245km
交通事故発生件数	↓	205件	249件	254件



<写真⑱>
新京成線連続立体交差事業



<写真⑳>
歩道等整備事業

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 計画的な道路網の整備

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
都市計画道路整備率	38.7%	33.2%	33.2%	33.2%
都市計画道路事業認可区間における用地取得率	100%	47.1%	48.5%	51.7%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	新京成線連続立体交差事業		担当課	道路河川整備課
概要	千葉県が事業主体となり、本市の中心市街地を東西に走る新京成線を高架化し、踏切を除却することで地域分断や交通渋滞の解消など安全性及び利便性を図る。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
千葉県、新京成電鉄と連携し、関連側道等の周辺整備に着手した。 ⇒P48 写真⑩参照		仮線撤去後、民有地等の借地返還及び関連側道などの周辺整備を進める。		
令和3年度決算額(千円)	282,242	令和4年度予算額(千円)	254,141	
事務事業名	新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業		担当課	道路河川整備課
概要	新鎌ヶ谷地区を東西に連絡する都市計画道路を整備することにより周辺地区の交通渋滞などを解消させるとともに歩行者等の安全性を図る。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
物件調査を行い用地取得を行った。 用地取得率 21.6%		国交付金の内示率が低いため、関係機関と連携し更なる要望活動を行う。		
令和3年度決算額(千円)	235,498	令和4年度予算額(千円)	191,309	
事務事業名	主要市道整備事業		担当課	道路河川整備課
概要	主要市道の歩道整備や舗装改良などを行い、利用者の安全性・利便性を高め生活環境の向上を図る。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
歩道整備に必要な用地を取得した後、工事開始までの用地保全工事を実施した。 また、修繕が必要な4路線の舗装修繕調査を行うとともに、3路線について舗装改良工事を行った。		・交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済み箇所は暫定的な工事を行い歩行者の安全性の確保に取り組む。 ・国交付金の内示率が低いため、関係機関と連携し更なる要望活動を行う。		
令和3年度決算額(千円)	195,456	令和4年度予算額(千円)	327,784	

重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実

事務事業名	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線 (中沢) 整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	千葉県が事業を進めている大柏川第二調節池整備に合わせ、区域内に位置する都市計画道路3・4・10号の一部について用地を確保するもの。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績内容	
大柏川第二調節池及び都市計画道路3・4・10号北初富中沢線の用地交換対象箇所を抽出し交換に向けての協定を締結させた。		県と市で協定に基づく取得済み用地の交換作業が速やかに行えるよう県と連携を図る。	
令和3年度決算額(千円)	80	令和4年度予算額(千円)	5,854
事務事業名	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	交通の円滑化と周辺地域の利便性向上を図るため、県道船橋我孫子線のバイパス道として県が事業主体となり整備を進めている。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績内容	
バイパス整備に伴う必要な用地について、物件補償などの調査を実施し地権者と交渉を行い、その経費にかかる地元負担金を県へ支出した。		引き続き、千葉県と連携し情報共有を図りながら効率的な用地取得に取り組む。	
令和3年度決算額(千円)	2,474	令和4年度予算額(千円)	17,359

プロジェクト 3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実

施策の柱② 既存の道路空間の安全性、快適性の確保

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
主要市道、一般市道改良延長	870m	717m	717m	717m
交差点改良事業における用地取得率	100%	0%	40.3%	48%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	一般市道整備事業	担当課	道路河川整備課
概要	一般市道において、道路排水施設の整備、舗装改良、狭あい路線の拡幅を行い、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
舗装修繕が必要な4路線を計画とおり実施した。また、今後予定している市道2107号線の拡幅に必要な用地を取得した。		国交付金の内示率が低いため、関係機関と連携し更なる要望活動を行う。	
令和3年度決算額(千円)	35,531	令和4年度予算額(千円)	29,252
事務事業名	交差点改良事業	担当課	道路河川整備課
概要	交通量の多い主要な交差点を対象に歩道設置や右折車線等の交差点改良を実施し利用者の安全性の向上を図る。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
市道22号線(中部小学校、第四中学校の通学路)の交差点(こひなた交差点)の改良に伴う必要な用地について物件補償などの調査を実施した。また取得した用地の保全工事を実施した。用地取得率48%		<ul style="list-style-type: none"> ・交付金を活用し事業の推進を図るとともに、用地取得済み箇所は暫定的な工事を行い歩行者の安全性確保に取り組む。 ・国交付金の内示率が低いため、関係機関と連携し更なる要望活動を行う。 	
令和3年度決算額(千円)	64,043	令和4年度予算額(千円)	29,166

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実

施策の柱③ 道路の適正な維持管理及び交通安全対策の推進

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
交通安全教室の開催数	22回	20回	6回	15回
交通安全施設更新件数（累計）	155基	71基	75基	81基

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	交通安全対策に要する経費	担当課	道路河川管理課
概要	交通安全意識向上のため、警察等の関係機関と連携し、交通安全運動を通じての啓発活動や小中学生、未就学児童を対象とした交通安全教室を開催し、交通ルールの指導を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の取組内容	
高齢者、小中学生、未就学児を対象とした交通安全教室の実施		啓発活動を継続し強化する。	
令和3年度決算額(千円)	8,840	令和4年度予算額(千円)	12,538
事務事業名	歩道等整備事業	担当課	道路河川管理課
概要	鎌ヶ谷市歩道等総合整備計画に基づき、道路区画線及びカラー舗装の整備を行うとともに、道路照明灯、ガードレール、道路反射鏡、道路標識等の交通安全施設の整備を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の取組内容	
新たに道路反射鏡19基、道路区画線5,370m、交通立看板28枚、ポストコーン5基、ガードレール16m、ガードパイプ98mを整備した。 ⇒P48 写真⑳参照		鎌ヶ谷市歩道等総合整備計画に基づき、より効果的な対策を推進する。	
令和3年度決算額(千円)	14,771	令和4年度予算額(千円)	17,779

プロジェクト 3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策② 安全に利用できる道路環境の充実

事務事業名	交通安全施設更新事業	担当課	道路河川管理課
概要	経年劣化により老朽化した各種安全施設（道路反射鏡等）の更新工事を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
歩道照明灯（フットライト）8基、配電盤2基、道路反射鏡6基、道路標識1基、車止めポスト10基の更新工事を行った。		日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法を検討する。	
令和3年度決算額(千円)	2,594	令和4年度予算額(千円)	2,600
事務事業名	道路維持・補修事業	担当課	道路河川管理課
概要	市民要望や市内パトロール等により得た情報も基に調査、検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
市道や道路排水施設等の適正な維持管理を行うため、道路パトロールや除草、清掃等の委託を行い、補修が必要な箇所について、補修工事を行った。		日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法を検討する。	
令和3年度決算額(千円)	112,132	令和4年度予算額(千円)	132,957
事務事業名	道路照明灯管理・LED化推進事業	担当課	道路河川管理課
概要	令和2年度にリース方式で整備したLED道路照明灯について、維持管理を行う。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
灯具の不具合については委託業者と調整し、LEDライトの交換を5基行った。		リース契約による適切な維持管理を行う。	
令和3年度決算額(千円)	13,984	令和4年度予算額(千円)	14,616

重点施策③ 魅力ある都市機能の充実

施策の柱① 緑あふれる快適な魅力あるまちづくり

施策の柱② にぎわいと活力ある市街地の整備

施策の柱③ 公共交通体系の充実

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R1	R2	R3
社会増加数（市内転入者数と転出者数の差）	↑	355人	294人	374人
市内8駅（東武野田線2駅、新京成線5駅、北総線・成田スカイアクセス線1駅）の1日当たりの乗降客数	↑	159,636人	127,123人	138,305人



<写真⑳>
都市計画マスタープラン策定事業



<写真㉑>
コミュニティバス運行助成事業

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあるまちづくり

重点施策③ 魅力ある都市機能の充実

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 緑あふれる快適な魅力あるまちづくり

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
まち並みや景観の満足度	60%	-%	-%	28%
新鎌ヶ谷地区事業所数	340事業所	329事業所	340事業所	349事業所

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	都市計画事務に要する経費		担当課	都市計画課
概要	市の都市計画について適正な誘導と計画に沿ったまちづくりを実現するため、都市計画に関する様々な事項を審議会に諮る。また、法令に基づく許可、届出業務を実施し、用途地域等の都市計画情報を提供する。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
生産緑地地区の追加指定・廃止、特定生産緑地の指定について都市計画審議会を開催し都市計画変更の手続きを行った。		令和5年度に発注予定の北千葉道路沿線の土地利用検討調査について、業務内容等を検討し事務処理方針を決定する。		
令和3年度決算額(千円)	10,212	令和4年度予算額(千円)	7,192	
事務事業名	景観形成事務に要する経費		担当課	都市計画課
概要	鎌ヶ谷市景観条例に基づき、重点地区の届け出制度及び景観審議会、景観アドバイザーなどの専門的意見の活用、市民と事業者等の理解と協力によって、望ましい景観の確保と誘導を図るもの。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
新型コロナウイルス感染症の影響もあり景観審議会の開催は見送った。景観条例に基づく届出は13件あり事務処理を行った。景観アドバイザーに図る案件はなかった。		景観届出内容について、現状を景観審議会に報告し検証を行う。また、市と事業者が行っている届け出事務の円滑化を図る。		
令和3年度決算額(千円)	0	令和4年度予算額(千円)	71	

プロジェクト 3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策③ 魅力ある都市機能の充実

事務事業名	都市計画マスタープラン策定事業	担当課	都市計画課
概要	平成14年度に策定した「都市計画マスタープラン」について、目標年次がおおむね20年後となっていることから、新たな「都市計画マスタープラン」の策定を行うもの。		
令和3年度の実績		令和4年度の実組内容	
都市計画マスタープラン策定部会（3回）及び策定委員会（2回）を開催し、全体構想（素案）をとりまとめ、オープンハウス、パブリックコメントを実施し全体構想を取りまとめた。 ⇒P54 写真②参照		パブリックコメント、オープンハウスを実施し、提出された意見を考慮したうえで、都市計画マスタープランを策定する。	
令和3年度決算額(千円)	8,125	令和4年度予算額(千円)	13,427

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあるまちづくり

重点施策③ 魅力ある都市機能の充実

施策の柱② にぎわいと活力ある市街地の整備

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
駅前広場整備着手数	2件	1件	1件	2件
新鎌ヶ谷駅の1日当たりの乗降客数	116,000人	103,942人	83,045人	91,604人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	都市軸形成促進事業		担当課	都市計画課
概要	都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
国の交付金を活用し、初富駅前広場に至るアクセス道路（市道11号線）の拡幅用地を取得した。 用地取得率 約51%		国の交付金を活用し、事業を推進する。なお、推進にあたっては、地権者の協力と、関係機関との調整を行う。		
令和3年度決算額(千円)	48,157	令和4年度予算額(千円)	37,413	
事務事業名	新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業		担当課	都市計画課
概要	新鎌ヶ谷駅周辺地区が、魅力と活気にあふれる広域交流拠点として形成されるよう、土地利用の推進や通路の整備等を行う。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
新鎌ヶ谷駅西側地区基本構想基礎調査報告書を作成した。 新鎌ヶ谷地区の中街区における歩行者専用道路の土地交換を行った。		中街区を中心とした回遊性を確保し、各街区を行き来できるよう関係機関との調整を行う。		
令和3年度決算額(千円)	7,277	令和4年度予算額(千円)	5,200	

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策③ 魅力ある都市機能の充実

施策の柱③ 公共交通体系の充実

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
公共交通に対する満足度	70%	-%	-%	46%
コミュニティバス利用者数	167,000人	131,843人	87,445人	106,672人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	コミュニティバス運行助成事業		担当課	都市計画課
概要	市内の交通不便地区における課題解消や公共施設等の使用促進を図るため、運行事業者への一部補助などにより公共交通網の充実を図るもの。			
	令和3年度の実績		令和4年度の実績	
	令和4年度以降の運行は令和元年度提言に基づく運行計画を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送り、現在の運行計画を1年間継続することとした。 ⇒P54 写真②参照		令和5年度から7年度までの運行についてプロポーザル方式により事業者選定を行う。バス停上屋ベンチ設置方針を策定する。	
	令和3年度決算額(千円)	55,500	令和4年度予算額(千円)	74,867

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

施策の柱① 商工業の発展と中小企業の経営強化

施策の柱② 企業誘致の推進と雇用環境の整備

施策の柱③ 観光客のニーズの変化に対応した観光施策の推進

(1) 施策の状態指標（目指す方向性）の実績

施策の状態指標（目指す方向性）の名称	目指す方向	R1	R2	R3
市内の事業所数（経済センサス 基礎、活動調査）	↑	3,639事業所	一事業所	3,178事業所
製造業の事業所数（経済産業省 工業統計調査）	↑	96事業所	93事業所	一事業所



<写真⑳>
創業支援事業
(創業支援セミナー)



<写真㉑>
観光振興に要する経費
(千葉県観光物産展における鎌ヶ谷市ブース)

重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

(2) 施策の柱の進捗状況

施策の柱① 商工業の発展と中小企業の経営強化

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
創業支援セミナー参加者数	150人	82人	124人	151人
市制度融資実行件数	30件	27件	21件	18件

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	商工業振興に要する経費		担当課	商工振興課
概要	市内に存在する企業の大半を占める中小企業や経済活動を行う団体に対して、補助金の交付やイベントの共同事業などで支援を行う。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
商工会、商店会連合会、ふるさと産品協会、その他商工業振興団体12団体に補助金を交付した。		未だ新型コロナウイルス感染症の影響は残っており、商工業振興団体はニューノーマル（新しい生活様式）の対応が必要である。コロナ禍においても、経済を循環させなければならない中、市民が安心して消費活動できるような取り組みに対しては柔軟な対応を行う。		
令和3年度決算額(千円)	19,490	令和4年度予算額(千円)	25,268	
事務事業名	中小企業資金融資等に要する経費		担当課	商工振興課
概要	中小企業に対する資金融資や融資の利子に対する利子補給など、中小企業支援を行う。			
令和3年度の実績		令和4年度の実績		
国、県の融資制度が整備される中、市の制度融資利用者に対しても利子補給率の拡充や信用保証料の補給を行うことで借入しやすい環境を整えた。また、経営支援給付金を659事業者に6,575万円を給付した。		中小企業が資金調達をしやすくするため、利子補給金の拡充や信用保証料の補給を検討する。		
令和3年度決算額(千円)	166,679	令和4年度予算額(千円)	101,001	

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

事務事業名	創業支援事業	担当課	商工振興課
概要	民間事業者に業務委託し、創業支援セミナーを開催する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
創業支援セミナー（基礎コース2回、実践コース5回、テーマ特化コース3回）及び個別相談会を開催した。 ⇒P59 写真⑳参照		令和3年度創業支援セミナーでの改善点をプロポーザルの仕様書に盛り込み、令和4年度についても受託事業者の選定をプロポーザル方式により決定する。プロポーザルで決定した受託事業者と協議のうえ、創業支援セミナーを開催する。	
令和3年度決算額(千円)	3,000	令和4年度予算額(千円)	3,000
事務事業名	コミュニティビジネス事業・ベンチャービジネス事業	担当課	商工振興課
概要	コミュニティビジネス事業やベンチャービジネス事業を行う対象者に補助金を交付し、新たに起業する人や市内の事業者のチャレンジを応援する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
法人1件、個人事業主2件、個人1件の補助金交付決定を行った。		未だ新型コロナウイルス感染症の影響は残っているものの、事業者間の横の繋がりが持てる機会を提供するため、感染症対策を万全にしたうえで、実績報告会を開催する。	
令和3年度決算額(千円)	2,912	令和4年度予算額(千円)	4,507
事務事業名	空き店舗活用事業	担当課	商工振興課
概要	賑わいの創出を図るため、商店会の空き店舗を活用し、出店する人に対し、店舗改装費等の総額2分の1（上限100万円）を補助する。		
令和3年度の実績		令和4年度の実績	
2件の補助金交付決定を行い障害者福祉事業とスポーツ施設提供業の2店舗が開店した。		より多くの方に活用してもらえよう積極的に周知を行う。また、本事業活用者に対し事業継続に繋がるようフォローアップを行う。	
令和3年度決算額(千円)	1,498	令和4年度予算額(千円)	3,000

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

施策の柱② 企業誘致の推進と雇用環境の整備

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
企業誘致件数（累計）	3件	0件	0件	0件
無料職業紹介所の紹介による就職人数	130人	62人	55人	49人

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	雇用安定事務に要する経費		担当課	商工振興課
概要	中小企業退職金共済掛金補助金の交付や無料職業紹介の充実及び就職支援セミナー等の開催により雇用の安定化を図る。			
令和3年度の実績			令和4年度の実績	
就職支援セミナーや若者を対象とした就職相談を毎月開催し、参加者に無料職業紹介所を周知した。また、市広報等により、中小企業退職金共済掛金補助金や永年勤続優良従業員表彰の周知を図った。			無料職業紹介所の周知をする。併せて、各種就職支援セミナーを近隣自治体と連携して実施し、積極的な就職支援を行う。また、市広報等により中小企業退職金共済掛金補助金の加入者増加を図る。	
令和3年度決算額(千円)	4,216		令和4年度予算額(千円)	4,306
事務事業名	企業誘致基本計画推進事業		担当課	商工振興課
概要	企業誘致基本計画、企業誘致促進条例及び施行規則に基づき、プロジェクトマネージャーを活用した企業・地権者訪問などを実施するとともに、企業立地奨励金等を活用し、企業誘致の促進を図る。			
令和3年度の実績			令和4年度の実績	
配置したプロジェクトマネージャーが中心となって、不動産事業者や金融機関を訪問した。			担当者情報共有会議による市内連携強化に加え、金融機関との更なる連携強化を行っていく。	
令和3年度決算額(千円)	3,501		令和4年度予算額(千円)	5,210

プロジェクト3

人が集い、住みたい魅力のあふれるまちづくり

重点施策④ 商工業の振興及び観光施策の充実

施策の柱③ 観光客のニーズの変化に対応した観光施策の推進

成果指標の名称	目標値	R1	R2	R3
観光入込客数	410,000人	404,175人	149,132人	165,851人
観光イベント参加者の満足度	80%	—%	—%	80%

主な事務事業の概要、実績

事務事業名	観光振興に要する経費	担当課	商工振興課
概要	観光イベントや観光PR等、本市の魅力発信に資する取組を行う。また、鎌ヶ谷市ふるさと産品協会が実施する宣伝及び販売促進事業等に係る経費に対し、交付基準により補助する。		
	令和3年度の実績	令和4年度の取組内容	
	観光タウンミーティングを実施し、産官学連携で鎌ヶ谷の新たな名産品となることを目指して商品開発を行い、その商品がイベントで販売されるなど、事業参加者へのアンケートでは満足度80%となった。一方で観光入込客数は前年比で微増はしたものの、コロナ禍前と比較すると大きく減少したままとなった。 ⇒P59 写真⑳参照	観光は総合産業という視点のもと、引き続き観光ビジョンに基づき事業を実施する。また、次期観光ビジョン策定に向けた事前調査を実施する。	
	令和3年度決算額(千円)	858	令和4年度予算額(千円)
			1,893

